

コキアが赤く色づき始めました！

みちのく公園南地区だんだん畑のコキアは、紅葉の見頃を間もなく迎えます。例年並みの色づき具合で見頃のピークは1週間から10日ほど続くと予想しています。（花の見頃は、お電話でのお問合せ又はHPをご覧ください）又、見頃となっているのは、同じ段々畑に咲いている「ポットマム」です。紅葉のコキアと相まってとても美しい景色になっています。コキアとポットマムのコラボレーションは当公園ならではです。みちのく公園の秋を存分にお楽しみいただきたく、皆様のご来園をお待ちしています。



写真：2021.10.11撮影

資料配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ

問合せ

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9
TEL 0224-84-5991(代) Fax 0224-84-5992
管理センター長 内山 誠司(内線611) 広報担当 菅原 利之(内線673)

【南地区 だんだん畑】

コキア 【品種オータムビューティ】



だんだん畑 4,800本 4,800㎡

日本では、1000年以上前から栽培されており、昔はこの茎を乾燥させ、「ほうき」を作っていました。実(み)は「とんぶり」といい、畑のキャビアとして親しまれています。

(※当園のコキアは観賞用です！)

秋には鮮やかに紅葉し、秋の名所として親しまれています。

和名	ホウキグサ
科名	ヒユ科
属名	ホウキギ属
原産	南ヨーロッパ

ポットマム 【品種マルチフローラ】

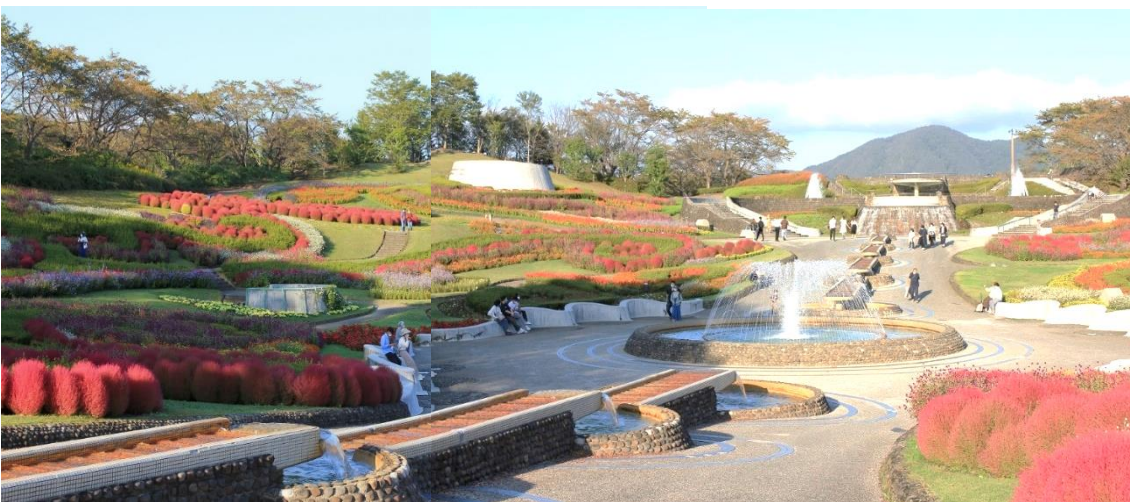


700株 500㎡

1950年代にアメリカで鉢植え向きにコンパクトに仕上がる品種が作られて、それが「ポットマム」という名前で日本でも普及したんだ。おうちで手軽に楽しめるように、鉢植えで育てられる菊ということから「ポット・クリサンセマム」が語源となって、学名(生物学者リンネが提唱した「個々の生物に付けられた世界共通の名前」)で「キク」を表す「Chrysanthemum(クリサンセマム)」をニックネームのように「マム」と短縮形にして「ポット・マム」となった

和名	ポットマム
科名	キク科
属名	キク属
原産	中国、アメリカ

【南地区 彩のひろば 大花壇】



みちのく公園南地区
彩のひろば大花壇では、サルビア、センニチコウ、ジニア、アゲラータム、ベゴニア、コキアなど秋の花々が見頃を迎えています。

みちのく公園HP「花ギャラリー」にて随時更新中

<https://michinoku-park.info/flowers/>

